

地区計画区域内における「壁面の位置の制限」の緩和措置の要件について

1. 分筆、合筆により土地利用される際の「壁面の位置の制限」の規制緩和要件は次のとおりとする。

○基準日時点の敷地の短辺が10m未満であること。(別紙事例集参照)

※事例集以外の案件については、要協議が必要。

2. 基準日は、下記のとおりとする。

記

○伊覇地区、屋宜原地区、富盛地区は、土地区画整理事業による仮換地指定日とする。

①伊覇地区……平成17年7月5日、平成17年12月16日

②屋宜原地区…平成13年3月21日、平成14年2月18日、平成14年9月4日

③富盛地区……平成8年3月1日

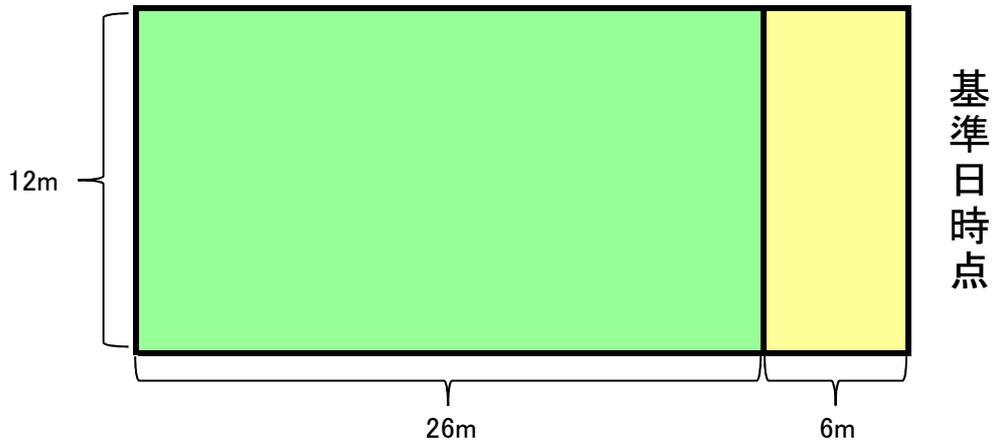
※仮換地指定通知書に仮換地指定日が記載されていますのでご確認ください。

※伊覇地区、屋宜原地区については、換地先(場所)によって仮換地指定日が異なるのでご確認ください。

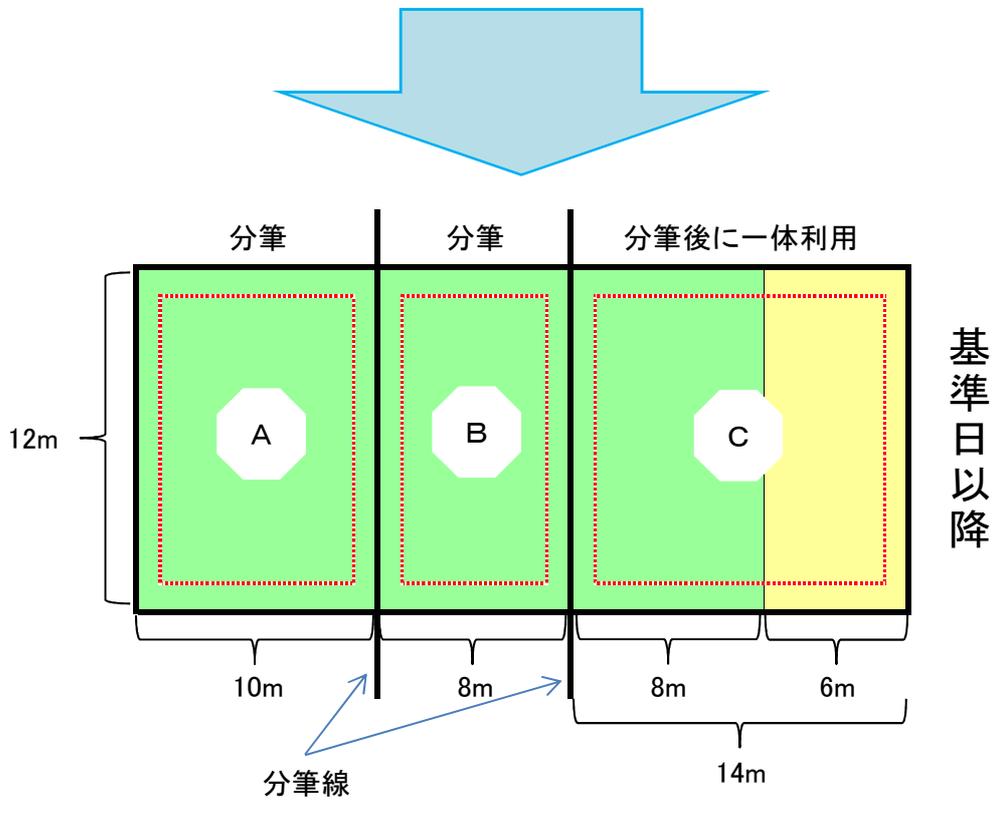
※一部の土地については、仮換地変更により上記記載の仮換地指定日以外の箇所もありますので
ご確認ください。

○こちんだプラザ地区…地区計画の都市計画決定告示日とする。「平成23年9月5日」

地区計画区域内における「壁面の位置の制限」の緩和措置の要件について



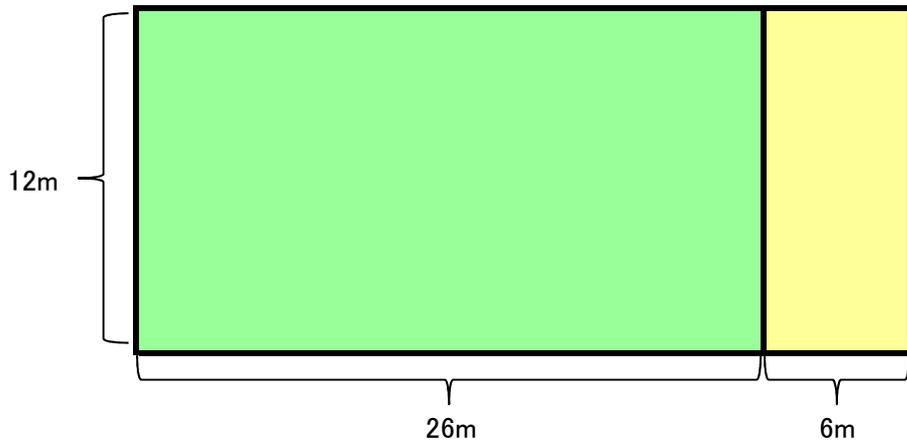
パターン
①



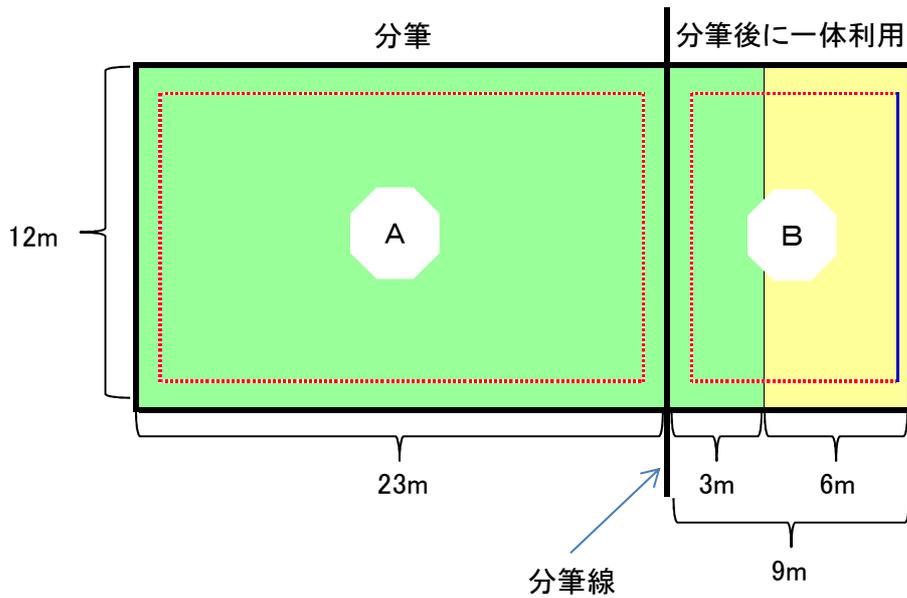
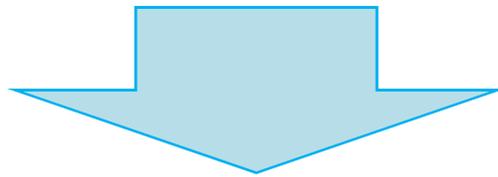
※A宅、B宅、C宅の「壁面の位置の制限」について

	緩和措置
A：道路 1m 隣地 1m ⇒ 分筆後の敷地の短辺が10m以上	適用外
B：道路 1m 隣地 1m ⇒ 分筆後の敷地の辺が10m未満だが、従前は10m以上	適用外
C：道路 1m 隣地 1m ⇒ 合筆後の敷地の短辺が10m以上	適用外

地区計画区域内における「壁面の位置の制限」の緩和措置の要件について



パターン②

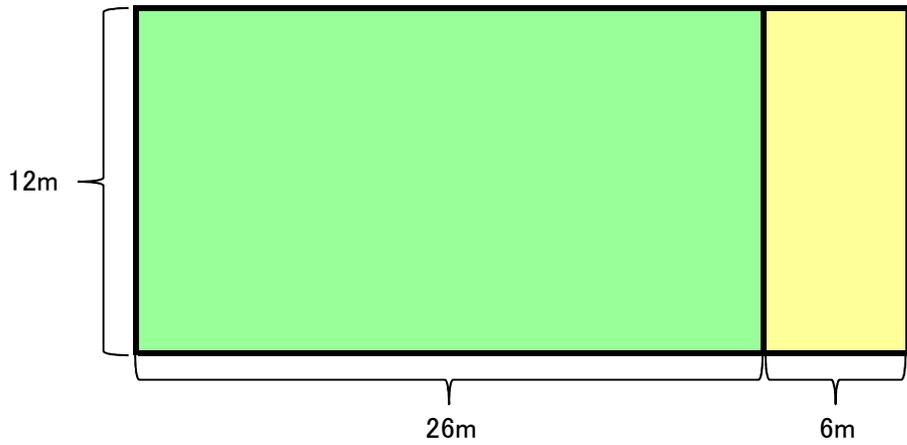


— 0.5m
 1.0m

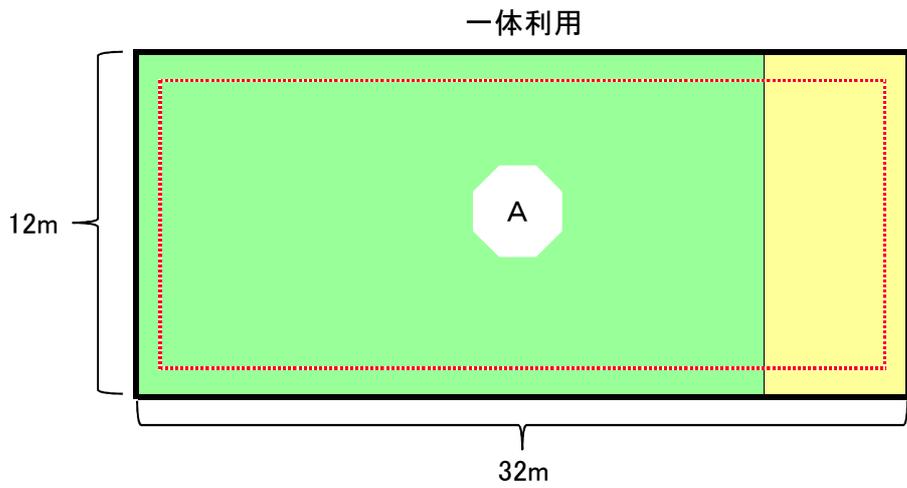
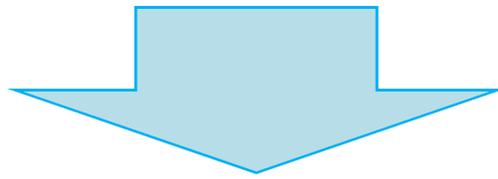
※A宅、B宅の「壁面の位置の制限」について

	緩和措置
A : 道路 1m 隣地 1m ⇒ 分筆後の敷地の短辺が10m以上	適用外
B : 道路 1m 隣地 1m ⇒ 分筆後の敷地の短辺が10m未満だが従前(緑部分)は10m以上	適用外
道路 1m 隣地 0.5m ⇒ 合筆後の敷地の短辺が10m未満かつ従前(黄部分)は10m未満	適用

地区計画区域内における「壁面の位置の制限」の緩和措置の要件について



パターン
③



— 0.5m
- - - 1.0m

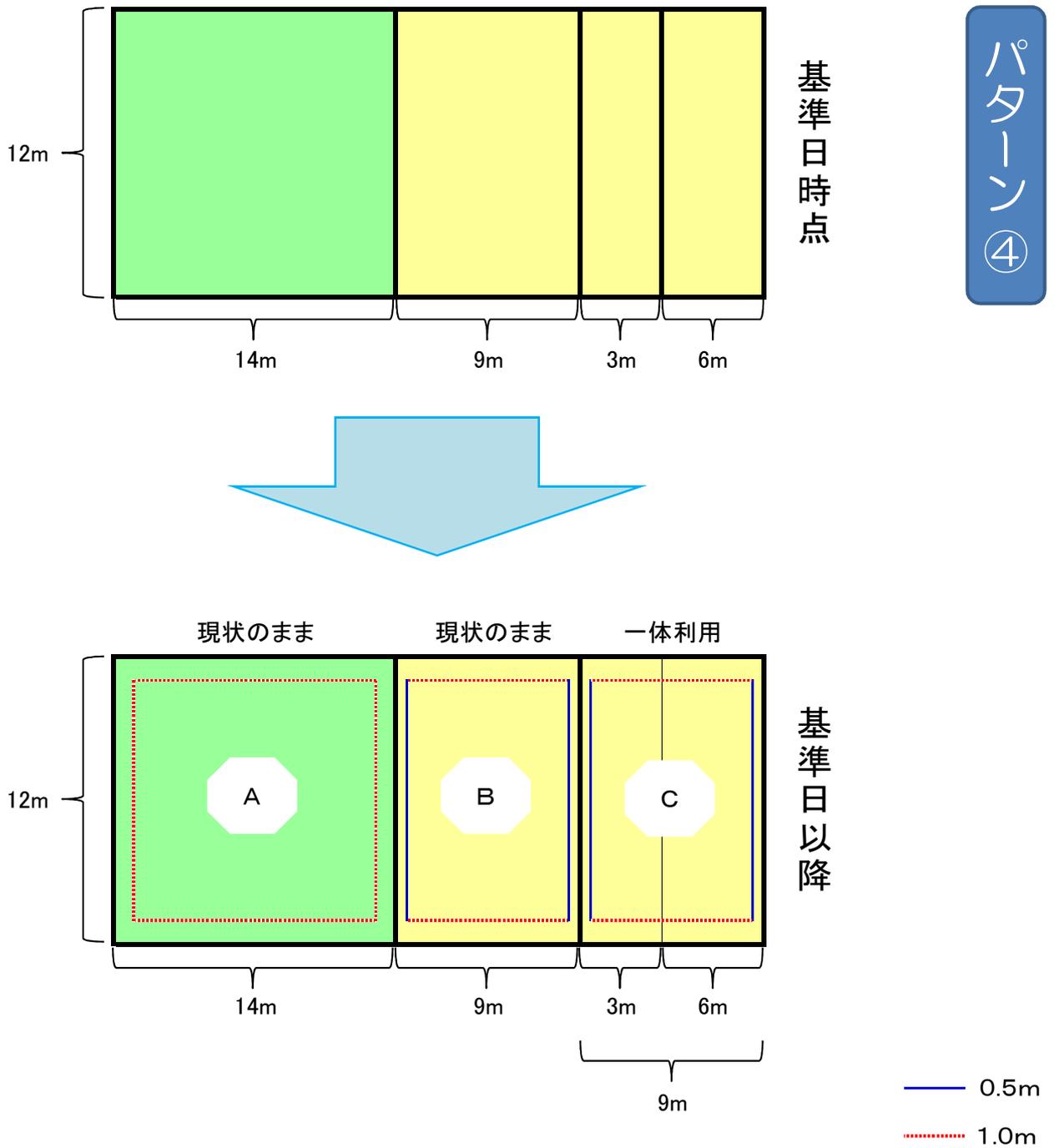
※A宅の「壁面の位置の制限」について

緩和措置

A : 道路 1m 隣地 1m ⇒ 合筆後の敷地の短辺が10m以上

適用外

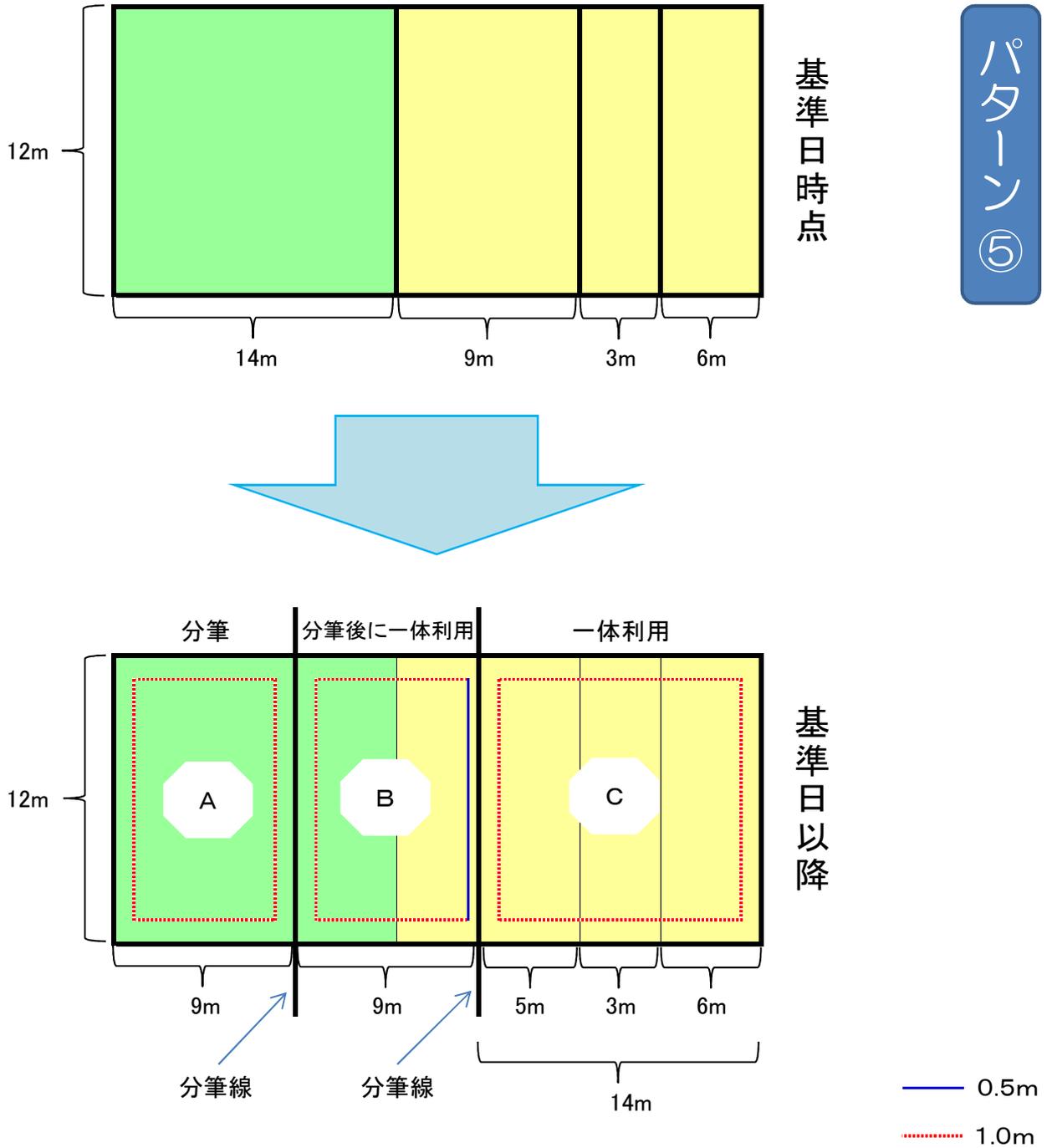
地区計画区域内における「壁面の位置の制限」の緩和措置の要件について



※A宅、B宅、C宅の「壁面の位置の制限」について

	緩和措置
A：道路 1m 隣地 1m ⇒ 敷地の短辺が10m以上	適用外
B：道路 1m 隣地 0.5m ⇒ 敷地の短辺が10m未満かつ従前の敷地の短辺が10m未満	適用
C：道路 1m 隣地 0.5m ⇒ 合筆後の敷地の短辺が10m未満かつ従前の敷地の短辺が10m未満	適用

地区計画区域内における「壁面の位置の制限」の緩和措置の要件について



※A宅、B宅、C宅の「壁面の位置の制限」について

	緩和措置
A: 道路 1m 隣地 1m ⇒ 分筆後の敷地の短辺が10m未満だが、従前は10m以上	適用外
B: 道路 1m 隣地 1m ⇒ 分筆後の敷地の短辺が10m未満だが、従前(緑部分)は10m以上	適用外
道路 1m 隣地 0.5m ⇒ 分筆後の敷地の短辺が10m未満だが、従前(黄部分)は10m未満	適用
C: 道路 1m 隣地 1m ⇒ 合筆後の敷地の短辺が10m以上	適用外